

鎌倉市川喜多映画記念館 令和6年度（2024年度）第1四半期実績評価

1 記念館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

- ・この四半期の来館者数は4,573人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値7,084人に対して、約64.6%の来館者数であり、評価水準の80%に満たなかった。
- ・昨年度の同四半期来館者数4,164人と比較すると409人、約9.8%増加した。

2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・通常の設備保守・点検等が適切に実施されている。
- ・館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。

● 資料等の維持管理

- ・施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

● 上映及び展示

- ・展示事業は、前四半期から引き続き通常展「ジェラルド・フィリップと忘れじの名優たち」と、通常展「映画館のエトセトラ」を開催した。「映画館のエトセトラ」は、映画館の存在そのものを紐解くことがテーマになっており、映画館を取り巻く人（活動弁士、映写技師）とモノ（劇場看板、パンフレット）から立体的に迫っていく展示内容だった。
- ・上映事業は、通常展「映画館のエトセトラ」に因み映画や映画館がテーマとなっている作品を上映した。特別上映では、活動弁士を招いた活弁上映を実施した。

● 調査、研究及び情報提供

- ・次期展示の調査研究のため、関連施設やゆかりの地等を訪ね、情報収集を行った。
- ・情報資料室において映画資料や関連図書等の情報提供を行った。

● 広報及び宣伝等

- ・市広報に展示や上映内容を欠かさず掲載した。さらに、市役所本庁舎内のモニターによる広告も利用し、より多くの市民等に向けて利用促進の情報発信を行った。

● その他の事業

- ・キュレーターによる上映解説や展示解説を実施した。
- ・4月5日 「はじめてのシナリオ教室」を開催した。（第3回／全3回・参加者12人）
- ・5月14日～19日 シネマウィークと題し、関東大震災をテーマとした作品の上映を実施した。
- ・5月16日 シネマウィーク上映作品「カメラを持った男たち」英語字幕付き上映、「福田村事件」バリアフリー上映を実施した。
- ・5月18日、19日 シネマウィーク上映作品「カメラを持った男たち」と「福田村事件」のトークイベントを実施した。（各参加者48人、41人）
- ・6月9日 通常展に関連してトークイベント「映写技師さんってどんな人？」を実施した。（参加者51人）

4 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書を決められた期日までに提出した。

● 事故・苦情対応

- ・事故や苦情等があった際は、内部で情報共有を行い、速やかに市へ報告するとともに対応策を検討している。
- ・6月25日に空調機の故障が発生し、館内冷房機能が停止する事態となった。市と連携し、対処に当たった。

● その他

- ・4月6～7日に旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）の一般公開を行った。（来場者合計1,220人）
- ・4月27日から、近隣4館との連携でスタンプラリーを実施した。
- ・5月1～5日に旧川喜多邸別邸（旧和辻邸）において特別公開「オウメチッタ」を開催した。（来場者合計464人）
- ・6月14、19、26日に鎌木清方記念美術館と連携し「紫陽花が咲く記念館を巡る展示解説ツアー」を実施した（参加者合計92人）

5 全体評価

- ・この四半期の来館者数は4,573人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値7,084人に対して、約64.6%の来館者数であり、評価水準の80%に満たなかった。そのため5点減点とする。しかしながら、昨年度の同四半期来館者数4,164人と比較すると409人、約9.8%増加しており、また友の会会員数も昨年度同時期よりも多い81人多い494人が入会していることから、このまま来館者数が回復していくよう、引き続き努力されたい。

- ・トークイベント「映写技師さんってどんな人？」は満員に近い来場があったが、フィルム映写機を保有し、複数の映写技師との繋がりをもつ記念館ならではの独自性のある企画であり、高く評価する。今後も社会貢献及び教育普及活動に意欲的に取り組み、記念館及び映画文化への理解が深まる企画が実施されることを期待する。

- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。

鎌倉市川喜多映画記念館 令和6年度（2024年度）第1四半期判定評価

評価項目	判定点	評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	×	5
2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとしてされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとしてされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			5

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率	
減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%